

阪急沿線 ちょい駅散歩

40駅目

きよしこうじん
清荒神
KIYOSHI-KOJIN

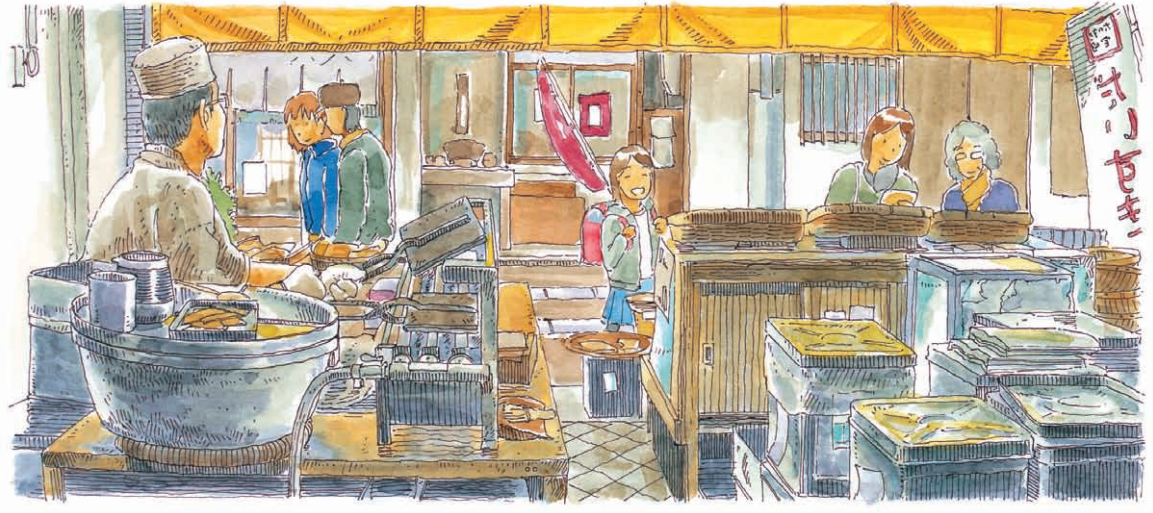
← たらづか TAKARAZUKA めふじんじゃ MEFU-JINJA →

清荒神 清澄寺の最寄り駅。駅前からは、緩やかなカーブを描いて約1.2キロメートルの参道が延びる。道筋が昇り龍の姿に似ていることから「龍の道」とも呼ばれ、何とも縁起が良い。昔ながらの風情を残す参道の商店街をぶらりと歩きながら、荒神さんへ参ろう。



清荒神駅 | 所在地 / 宝塚市清荒神 設置 / 1910年3月10日

「納め荒神」でゆるりと締めくくる一年



清澄寺 清荒神
みこ橋 昔は清めて体よき参りした
大炊籠 高さ8mもある
中国自動車道
至宝塚 至梅田
清荒神 阪急宝塚線
宝塚市立図書館

宝玉堂 北店
伊勢屋 参福
酒商 伊勢屋

伊勢屋の伊藤さんが敬愛するワインの作り手、アンリ・ジャイエ氏が手がけるRICHEBOURG (リシュボール)のボトル (非売品)

参福 毎日手作り。自然のままのごま豆腐

宝玉堂 大人も子どもに戻る懐かしの味

参道・立ち寄りどころ

鮮食品から荒物、神具・仏具に土産物、約100店が軒を連ねる清荒神参道商店会。その中から、おすすめの3店をご紹介します。

宝玉堂 北店 ほうぎょうどう きたてん
大人も子どもに戻る懐かしの味

思わず足が止まる甘い匂い。店先は店主・山下さんが焼く煎餅の香りに包まれている。ここに店を構えて20年、馴染みのお客さんと“互いの生活まで感じられる”対面商売が一番の魅力とニコリ。中には親子三代で通う人もいて、伝統の味はお客さんと共に生まれ、受け継がれている。「かぼちの種煎餅」

●9:00~17:00 / 無休 / ☎0797-87-7115

500円

酒商 伊勢屋 さけしょう いせや
ソムリエの愛するお酒の宝庫!

オーナー・伊藤さんの名刺には「良酒案内人」の肩書、胸にはソムリエの証・金色のぶどうバッジが光る。店内は国内外を訪ねて集めたお酒がずらり。ワインは質、価格のバランスが良い。南アメリカ産が今の一押し。日本酒の品ぞろえも豊富で、誰と飲もうかと選ぶのも楽しい、お酒の時間が過ごせるお店。

●10:00~20:00 (12月31日は~19:00) / 水曜休 (12月21・28日は営業、2012年1月1~4日は休み) / ☎0797-86-2822

参福 みく
毎日手作り。自然のままのごま豆腐

厳選ゴマと3年寝かせたワラビ粉で作ったおいしいごま豆腐ならここで。とろける喉越しと、濃厚なゴマの味は一度食べたらずみつきに。

●10:00~17:00 / 無休 / ☎0797-84-5628

ごま豆腐、5個入り 650円

お寺で浸る巨匠の世界

全国的にも珍しい境内に建てられた個人美術館。読書と旅三昧の生活を送り、文人画家の理想を生きた富岡鉄斎。流派にとられない作風と、迫力の筆墨やユーモラスな画風の魅力を、心ゆくまでゆったり楽しんでみては。年明け1月8日~3月18日は煎茶に関する書画、工芸作品を中心に展示する「鉄斎の器玩一売茶翁没後250年によせて」を開催。

【鉄斎美術館】一般300円、高大生200円、小中生100円 / 10:00~16:30 (入館は~16:00) / 月曜休 (祝日の場合は開館、翌日休) / ☎0797-84-9600

清荒神 清澄寺 きよしこうじん せいじょうじ
“台所の神様”と親しまれる名刹

寛平8(896)年、宇多天皇の勅願により創建。年の瀬は風物詩「納め荒神」でにぎわう。一年のお礼参りや、新年の買い物などに全国からやって来る参拝者で境内や参道はごった返すのだとか。お参り際には天堂裏手の通称「お宝さがし」の「荒神影向の櫓」にも立ち寄って。砂の中からかき出したさい銭を持ち帰り、翌年に倍額を返すと小遣いに困らずに過ごせるという何ともありがたい御利益には、ぜひあずかってみたいもの。

●納め荒神 大般若経転読法要「納三宝荒神大祭」は12月27・28日共10:00~
●9:00~17:00 / 無休 / ☎0797-86-6641

執行長の有井さん、火の神、リ台所の神、とらじろご、一般の方がたくさん参拝します